

ユネスコエコパーク通信



「自然」「綾」をテーマに
子どもの学びを支援しています！

ユネスコエコパーク推進室では、年間を通して保育所や小・中学校の授業の支援を行っています。

この春、綾中学校では1年生の「総合的な学習」の時間として、「自然と共生するまち・綾を探る」をテーマにした授業がありました。職員は、綾ユネスコエコパークや照葉樹林についての解説を行ったほ

か、役場北側にあるジオトープ「綾トープはっけんじま」では里山に暮らす動植物、照葉大吊橋では奥山に生息する動植物の観察をサポートしました。

綾小学校4年生の「総合的な学習」の授業では、綾の自然を題材に自分で課題を設定して追求するという学習が行われました。子どもたちは、綾神社と野首谷遊歩道でそれぞれが気になる動植物を観察した後、学校に戻って疑問に思ったことやこれから調査したいことをまとめました。

町外の小学校が綾町で行う宿泊学習などでも、綾の自然の豊かさを肌で感じてもらうと、散策をはじめ、自然観察、農作業やカメラなどの体験プログラムを通して学びのお手伝いをしています。

照葉樹林はもちろん、私たちの暮らしている身近な場所には、さまざまな動植物が生

きています。森の働きによって浄化された水が湧き出て川となり、その川の水を利用して私たちが暮らしていることから分かるように、私たちの命は自然によって支えられています。

推進室は、そうしたことを伝え、「人と自然が共に生きる」というユネスコエコパークの理念について考えるきっかけを子どもたちに提供したいと思っています。これは、持続可能な社会の担い手を育てる教育につながります。

今年度はほかに、綾町内の保育所でのネイチャーゲームなども計画されています。講師の派遣やプログラム内容などの相談がありましたら、ご連絡ください。

■問い合わせ先

ユネスコエコパーク推進室

☎ 77-3482

コラム コベンマイマイ

最大で直径が5cm近くも成長する大型のカタツムリです。雨の日には活発に動き回りますが、普段は森の落ち葉の下などに身を潜めています。

洞巻きの裏側にある中心の穴が、ヘソのような殻の出っ張りであることが付いたとされています。学術的なグループの名前である属名は「Satsuma」といい、日本語の「薩摩」が由来になっています。

カタツムリの仲間は、移動の範囲が狭く、地域によりいくつもの種類に分かれてきました。綾町でも約90種類が確認されています。雨の多くなるこの季節、いろいろなカタツムリを探しに出掛けてみませんか？

